

InfoTrace 360

Mark II Clientインストール手順書

株式会社ソリトンシステムズ

2023年10月

目次

- はじめに
- [Step 1. 導入前確認項目](#)
- [Step 2. インストーラーの準備](#)
- [Step 3. Mark II Clientのインストール](#)
- [Step 4. Mark II Clientの状態確認](#)
- [Step 5. Mark II Clientのアンインストール](#)
- [付録. OSのイメージコピーによる展開をする場合](#)

はじめに

- 株式会社ソリトンシステムズ クラウドサービス製品「InfoTrace 360」をご利用いただき、誠にありがとうございます。
- 本書は、InfoTrace 360をご利用の際に必要なInfoTrace Mark II Client(以下Mark II Client)を、コンピューターにインストール/アンインストールするための管理者向け手順書です。
※InfoTrace 360ではMark II Clientを利用しています。
- InfoTrace 360のドキュメントはサービスポータルからアクセスできる[クライアント管理]の「ダウンロード」メニューにて提供します。
より新しい版が提供されている場合は最新版を参照してください。
- Mark II Clientのアンインストール時、未送信のログをすべて送信します。ログをすべて送信後にアンインストールが完了しますので、アンインストール操作はインターネット通信可能な状態で実施ください。

Step 1: 導入前確認項目

Mark II Clientの動作要件

- 本サービスで利用するMark II Clientの動作要件は以下の通りです。

対応OS (日本語/英語)	Windows 10 / 11 ※Windows OSの対応状況は、 https://www.soliton.co.jp/support/win_virus.html を参照ください。 ※海外での利用の場合は、 https://www.soliton.co.jp/lp/it360/foreign.html を参照ください。
CPU	OSが動作するCPU
メモリ	OSが動作するメモリ
HDD	100MBの空き容量 (ログファイル等によって増加)
通信方式	IPv4
その他	.Net Framework 3.5以上が必要です。 以下のソリトン製品・サービスとの共存はできません。アンインストールの上ご利用ください。 <ul style="list-style-type: none">- オンプレミスで構築のInfoTrace PLUS (Zerona PLUS) Agent- オンプレミスで構築のInfoTrace Mark II Client、Mark II CloudサービスのMark II Client InfoTrace 360のUSB制御オプションをご利用する場合は、以下のソリトン製品・サービスとの共存はできません。 <ul style="list-style-type: none">- SmartOn ID クライアント

通信要件

- 本サービスの利用に必要な通信は下記の通りです。
必要な通信が行えるようにファイアウォールの設定変更等を行って頂く必要があります。

通信元	通信先	ポート、プロトコル
お客様の管理端末	アカウント通知に記載の通信先 「サービスポータル」 「ログダウンロード接続先」	443/TCP
	i360-01-ec-2.soliton-ods.jp i360-01-wb-2.soliton-ods.jp i360-01-logdl1.soliton-ods.jp secure.okbiz.okwave.jp www.soliton.co.jp	443/TCP
お客様が管理される端末 (Mark II Client)	アカウント通知に記載の通信先 「クライアント接続先」	443/TCP

プロキシ利用環境の場合

- Mark II Client プロキシ利用環境での注意事項について。
 - プロキシ認証には対応していません。
 - プロキシ利用環境ではWinHTTPプロキシ設定が必要です。予め設定しておいてください。
例) コントロールパネルの [インターネットオプション] から設定をインポートする場合、コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行して下さい。
netsh winhttp import proxy source=ie
※マイクロソフト社のサイトなども参照ください。
 - 通信確認用ツールのツールを提供しています。
InfoTrace 360のサービスポータルにログインし、「クライアント管理」内メニューの「ダウンロード」、「ツールその他」にあります。以下FAQも参照ください。
<https://secure.okbiz.okwave.jp/faq-soliton/faq/show/14425>

ウイルス対策ソフトとの共存について

Mark II Clientを端末で利用する際に、ウイルス対策ソフトがインストールされていると

- Mark II Clientのインストールに失敗する
- 設定が反映されない
- クライアント端末のパフォーマンスが低下する

等の問題が発生する可能性があります。

Mark II Clientインストール前に、ウイルス対策ソフトで下記フォルダ、ファイルの監視(検索)除外設定をおこなって下さい。

インストールフォルダ ※1	データフォルダ(設定やログ情報等)、ファイル
C:¥Program Files¥Soliton Mark II Updater C:¥Program Files¥Soliton InfoTrace Mark II EPM C:¥Program Files¥Soliton InfoTrace Mark II Recorder C:¥Program Files¥Soliton SmartOn	C:¥ProgramData¥Soliton Mark II Updater C:¥ProgramData¥Soliton Mark II Uploader C:¥ProgramData¥Soliton InfoTrace Mark II EPM C:¥ProgramData¥Soliton InfoTrace Mark II Recorder C:¥ProgramData¥Soliton SmartOn

※1.フォルダ名はシステムドライブがCドライブにおける初期設定の場合です。
 インストールフォルダを変更している場合は、インストール先のフォルダを除外設定してください。

※2.システムドライブがCドライブ以外の場合は「C:」の部分システムドライブに読み替えてください。

※3.ご利用のウイルス対策ソフトによっては、フォルダが存在しない場合には除外設定を行えない事がございます。
 インストール自体が成功する場合は、インストール後に除外設定を行ってください。
 インストールが失敗する場合は、事前にフォルダを手動で作成することで対応が可能であるかご確認ください。
 除外設定の詳細につきましてはウイルス対策製品のサポート窓口にお問い合わせください。

Step 2: インストーラーの準備

インストーラーをダウンロードする

インストーラーはサービスポータル内の[クライアント管理]からダウンロードすることができます。

1. サービスポータル内の[クライアント管理]をクリックします。
2. 左の「ダウンロード」メニューを選択し、「クライアント」にあるインストーラーをダウンロードします。
※ インストーラーのサイズは約100MB程度です。

The screenshot shows the 'InfoTrace 360 クライアント管理' (InfoTrace 360 Client Management) interface. On the left is a navigation menu with options: ホーム (Home), コンピューター (Computer), アプリ・プリンター (App/Printer), 台帳作成 (Ledger Creation), USBデバイス (USB Device), 制御ポリシー (Control Policy), 組織情報 (Organization Information), and ダウンロード (Download). The 'ダウンロード' menu item is highlighted with a red box. The main content area is titled 'ダウンロード' (Download) and contains three tables of files for download.

クライアント	ダウンロード	日付
インストーラー	↓	2022/05/11

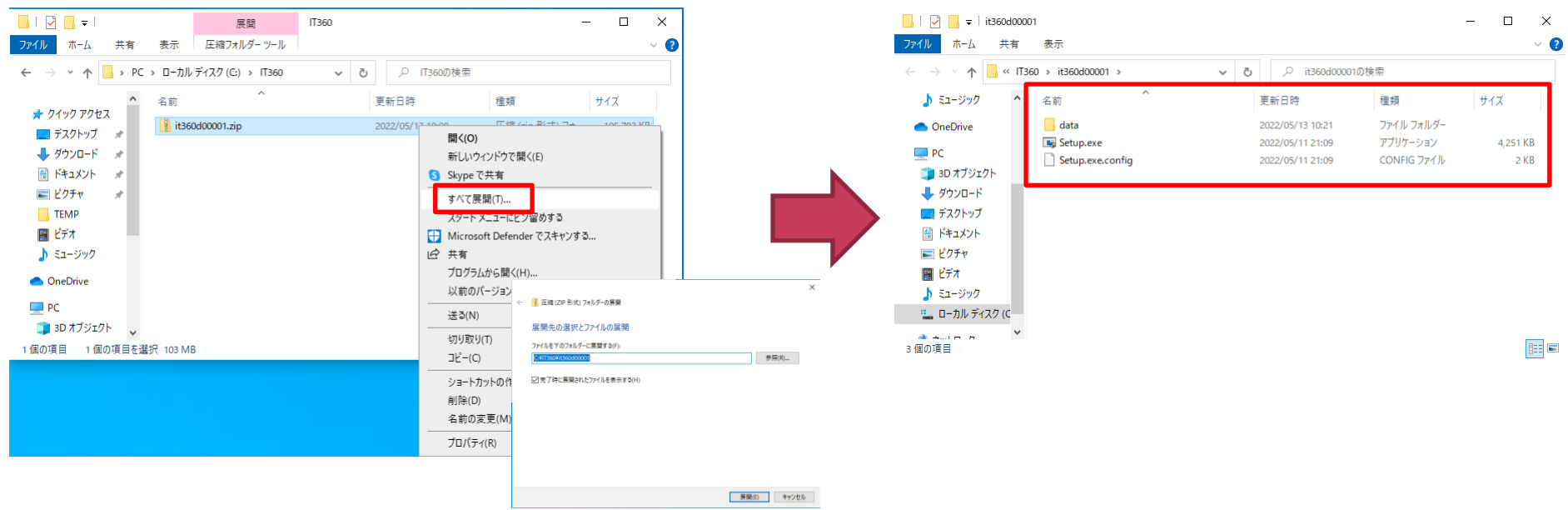
ドキュメント	ダウンロード	日付
InfoTrace360ログダウンロードマニュアル.pdf	↓	2022/03/10
360ダッシュボード利用マニュアル.pdf	↓	2021/12/28
クライアント管理マニュアル.pdf	↓	2022/02/28
ODからIT360への移行手順書.pdf	↓	2021/09/14
Clientインストール手順書.pdf	↓	2021/12/24

ツールその他	ダウンロード	日付
MKIMigrationtool.exe	↓	2021/01/29
組織情報アップロードフォーマット.csv	↓	2021/11/26
資産項目設定アップロードフォーマット.csv	↓	2022/03/23

インストーラーを展開・配置する

ダウンロードしたインストーラーはZIPファイル形式で圧縮されています。

1. エクスプローラーの[すべて展開]などを利用して解凍します。
2. 展開されたフォルダー配下のツリー構造をそのまま、コンピューターに配布するかファイルサーバーなどアクセス可能な共有フォルダーへ配置してください。

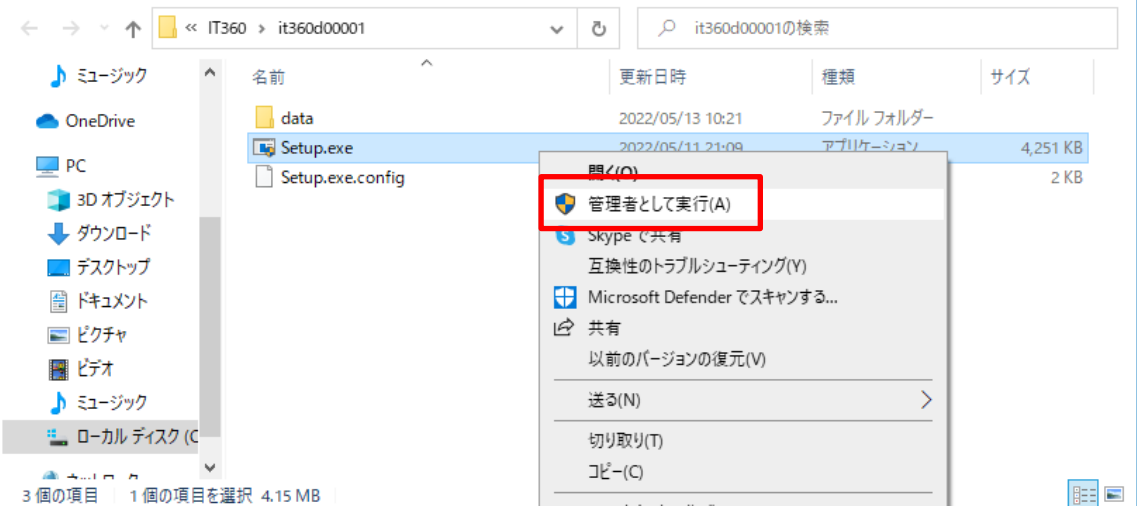


- ◆ 端末のユーザーがインストールする場合→「Step3 : Mark II Clientを(手動)インストールする」へ(P12)
- ◆ 管理者が資産管理ソフト等を利用してインストールする場合→「Step3 : Mark II Clientを(サイレント)インストールする」へ(P14)
- ◆ OSのイメージコピーやVDI環境を利用する場合→「付録: OSのイメージコピーやVDI環境を利用する場合」へ(P25)

Step 3: Mark II Clientのインストール

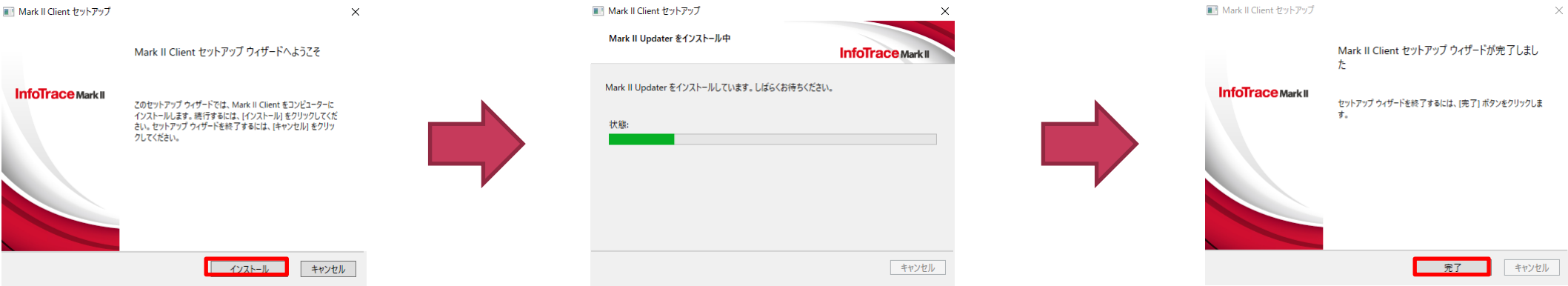
Mark II Clientをインストールする(手動)

- 展開したインストーラーを使用して、コンピューターにMark II Clientをインストールします。
(動作環境に関しましては「Mark II Clientの動作要件」(P.5)を参照ください)
- 1. インストーラーフォルダー配下の「Setup.exe」をダブルクリックします。
※インストールには管理者権限のあるユーザーでログオンしている必要があります。管理者権限のないユーザーでログオンしている場合は、右クリックで表示されるメニューから、[管理者として実行(A)]をクリックしてください。

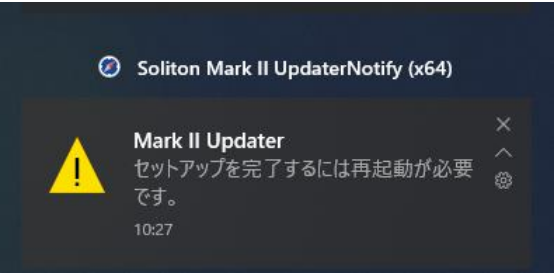
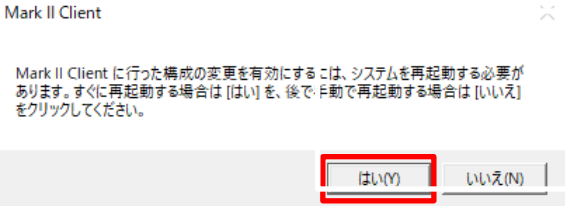


Mark II Clientをインストールする(手動)

2. 以下の画面が表示されます。[インストール]をクリックするとMark II Updaterのインストールが開始されます。
インストールが完了するまでお待ちください。



3. インストール完了後、OS再起動が要求されますので再起動してください。(Windows 10の場合、通知領域に表示)
※起動中のアプリケーションがある場合は、アプリケーション終了後に再起動してください。



Mark II Clientをインストールする(サイレント)

- 以下のコマンドを実行することで、Mark II Clientのサイレントインストールを行うことができます。
(動作環境は「Mark II Clientの動作要件」(P.5)を参照ください)

1. インストーラーのフォルダ内にある[Setup.exe]を[/q]オプションを付与して実行します。

例) > C:¥IT360¥it360d00001¥Setup.exe /q

※パスにスペースが含まれる場合は、ダブルクォーテーション(")で括ってください。

※インストールには管理者権限が必要です。

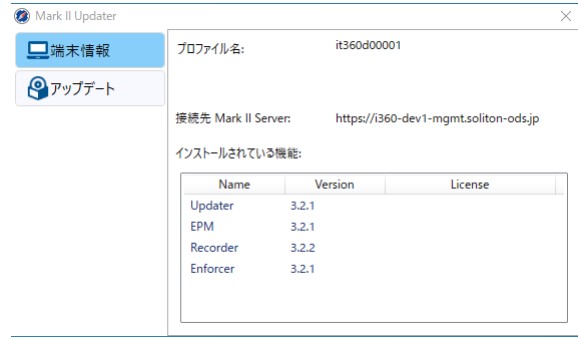
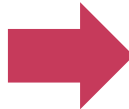
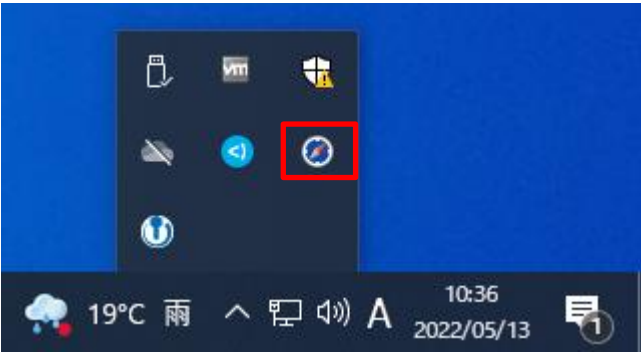
2. Mark II Clientのインストール完了後にはOSの再起動が必要です。ユーザーに連絡しOSの再起動を実施してください。(OS再起動が必要かどうかは、[クライアント管理]の[コンピューター]から確認できます。)

<input type="checkbox"/>	応答なし	DESKTOP-A74D2IL	Windows 10 2009	10.12.220.125	DESKTOP-A74D2IL¥taro	2022/05/11 21:09:46	2021/08/18 15:41:48	2021/08/18 15:38:15
<input type="checkbox"/>	応答なし	DESKTOP-ARGKUV7	Windows 10 2009	192.168.216.137		2022/05/11 21:09:46	2021/11/10 19:54:50	2021/11/10 18:02:35
<input type="checkbox"/>	応答なし	DESKTOP-PROGB5P	Windows 10 2009	192.168.80.128	DESKTOP-PROGB5P¥User001	2022/05/11 21:09:46	2022/03/09 10:56:59	2022/03/09 10:51:06
<input type="checkbox"/>	再起動が必要	DESKTOP-U20GQSL	Windows 10 20H2	10.13.255.19	DESKTOP-U20GQSL¥admin	2022/05/11 21:09:46	2022/05/13 10:26:05	2022/05/13 10:16:07
<input type="checkbox"/>	再起動が必要	IT360TEST01	Windows 10 21H2	192.168.20.193	IT360TEST01¥admin	2022/05/11 21:09:46	2022/05/13 10:27:22	2022/05/13 10:27:12

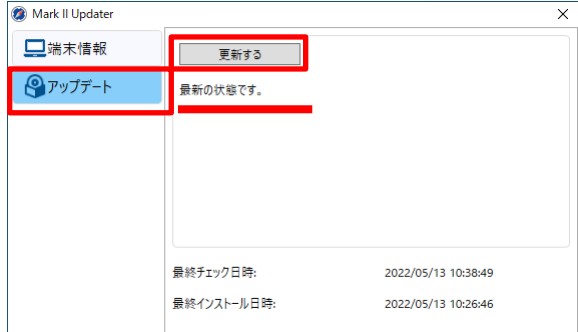
Step 4: Mark II Clientの状態確認

Mark II Clientの状態を確認する

- Mark II Updater のインストール完了・OS再起動後、Mark II Updater とMark II Server 間で通信が行われ、コンピューターがMark II Server の管理コンピューターとして登録されます。
- 1. Windowsのタスクトレイから[Soliton Mark II Updater]のアイコンをダブルクリックして、 Soliton Mark II Updater画面を表示します。



- 2. [アップデート]タブをクリックし、Mark II Clientの状態を確認することができます。



※[更新する]ボタンをクリックして、「最新の状態で」が表示されれば、Mark II Serverで設定したプロファイルの設定とコンピューターにインストールされているMark II Clientの構成および設定に差異がない状態を表しています。

(オンライン環境の場合は、最終チェック日時が表示されます。)

クライアント管理から確認する

1. クライアント管理の[コンピューター一覧]にMark II Clientをインストールした端末が登録され、[状態]が[正常]となっていることを確認してください。
(クライアント管理の詳細は「クライアント管理マニュアル」をご参照ください。)

The screenshot shows the 'InfoTrace 360 クライアント管理' (Client Management) interface. The left sidebar contains navigation options: Home, Computers (selected), Applications/Printers, Account Creation, USB Devices, Control Policies, Organization Information, Downloads, and Access Logs. The main area is titled '検索項目' (Search Items) and includes filters for Computer Name, IP Address, MAC Address, Domain Name, Patch Name, and Organization Name. A search box contains 'IT360'. Below the search filters, the 'コンピューター一覧' (Computer List) tab is active, showing a table of registered computers. The table has columns for Status, Computer Name, OS Name, IP Address, Last Login User, Profile Update Time, Last Communication Time, and Last Log Communication Time. One computer is listed with the status '正常' (Normal) and computer name 'IT360TEST01'. The table row is highlighted with a red border.

状態	コンピューター名	OS名	IPアドレス	最終ログインユーザー	プロファイル更新日時	最終通信日時	最終ログ通信日時
正常	IT360TEST01	Windows 10 21H2	192.168.20.193	IT360TEST01¥admin	2022/05/11 21:09:46	2022/05/13 10:38:49	2022/05/13 10:34:54

Step 5: Mark II Clientのアンインストール

！重要！

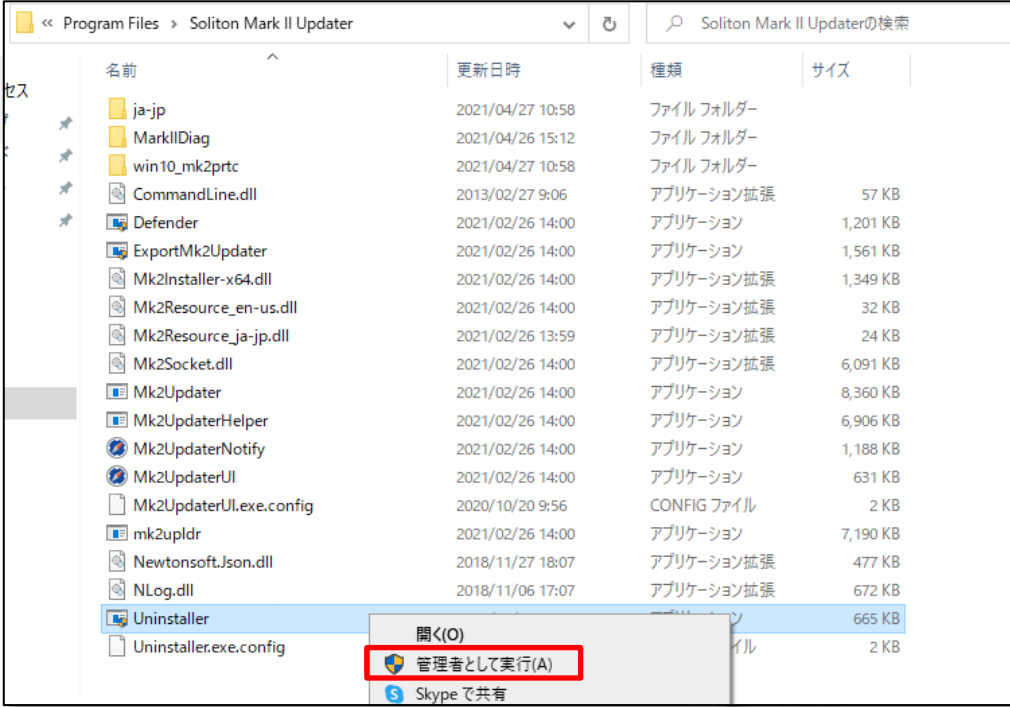
Mark II Clientのアンインストール時、未送信のログをすべて送信します。ログをすべて送信後にアンインストールが完了しますので、アンインストール操作はインターネット通信可能な状態で実施ください。

アンインストール操作を実施せずに、コンピューターを破棄等しますと未送信のログの情報を分析したり、ログスポット提供サービス等で入手することはできません。

Mark II Clientをアンインストールする(手動)

- アンインストール時においても「Step 1: 導入前確認項目」(P.5~7)を確認した上で、実施してください
- 1. 以下フォルダのUninstaller.exeファイルを実行します。
※インストールには管理者権限が必要です。
管理者権限のないユーザーでログオンしている場合は、[管理者として実行(A)]をクリックしてください。

C:\Program Files\Soliton Mark II Updater



Mark II Clientをアンインストールする(手動)

2. 以下の画面が表示されます。[アンインストール]をクリックし、パスワード入力後にアンインストールが開始されます。アンインストールが完了するまでお待ちください。

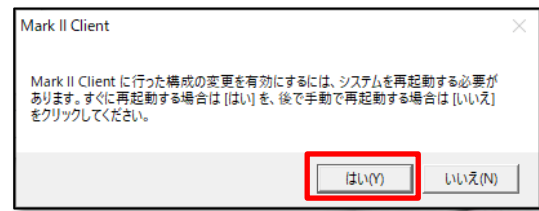
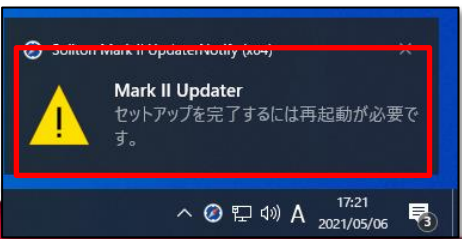
※アンインストールパスワードはサービス開始時に発行のアカウント通知書に記載されています。

※アンインストールしたPCは[クライアント管理]の[コンピューター一覧]から消去されます。



2. アンインストール完了後、OS再起動が要求されますので再起動してください。(Windows 10の場合、通知領域に表示)

※起動中のアプリケーションがある場合は、アプリケーション終了後に再起動してください。



Mark II Clientをアンインストールする(クライアント管理画面)

- [クライアント管理]画面からアンインストールすることも可能です。
※クライアント管理からのアンインストールの場合はパスワードの入力が不要です。
- 1. サービスポータル内の[クライアント管理]をクリックします。
- 2. [コンピューター]画面からアンインストールするPCのチェックボックスを有効にして「アンインストール」ボタンを押下すると画面上部にアンインストール確認のポップアップが表示されるので、OKをクリックします。

The screenshot shows the 'InfoTrace 360 クライアント管理' (Client Management) interface. A search filter 'IT360' is applied. The 'コンピューター一覧' (Computer List) section shows a table with one entry. The 'アンインストール' (Uninstall) button is highlighted with a red box. A confirmation dialog box is open at the top, asking 'コンピューターからMark II Clientをアンインストールします。よろしいですか？ (1)件' (Uninstall Mark II Client from computer. Is it OK? (1) items). The 'OK' button in the dialog is also highlighted with a red box.

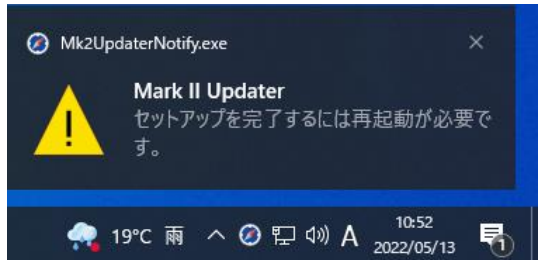
状態	コンピューター名	OS名	IPアドレス	最終ログインユーザー	プロファイル更新日時	最終通信日時	最終ログ送信日時
<input checked="" type="checkbox"/>	IT360TEST01	Windows 10 21H2	192.168.20.193	IT360TEST01\admin	2022/05/11 21:09:46	2022/05/13 10:38:49	2022/05/13 10:34:54

Mark II Clientをアンインストールする(クライアント管理画面)

3. 状態がアンインストール中となります。アンインストールが完了次第管理画面からPCが消去されます。

状態	コンピューター名	OS名	IPアドレス	最終ログインユーザー	プロフィール更新日時	最終通信日時	最終ログ通信日時
アンインストール中	IT360TEST01	Windows 10 21H2	192.168.20.193	IT360TEST01\admin	2022/05/11 21:09:46	2022/05/13 10:48:50	2022/05/13 10:45:22

4. PC側にてOSの再起動が要求されるため、再起動をしてください。(Windows 10の場合、通知領域に表示された再起動通知が表示されます。)



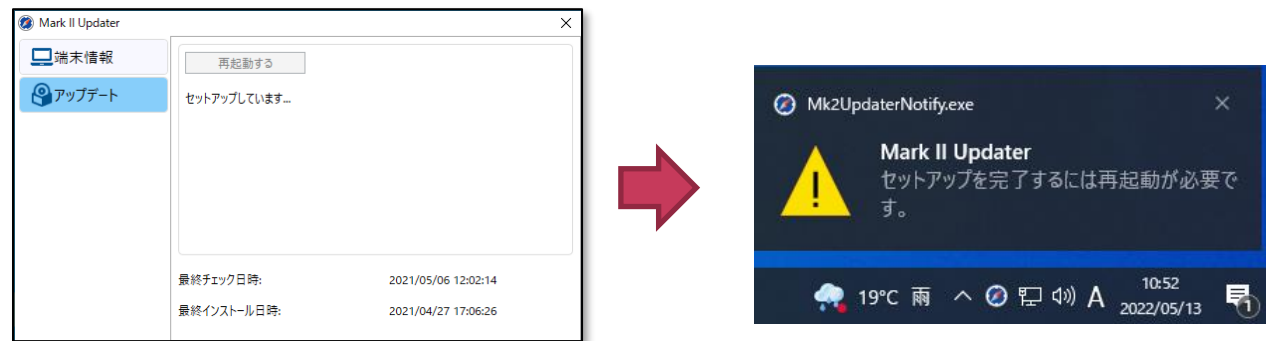
Mark II Clientをアンインストールする(クライアント管理画面)

※クライアント管理画面からPCが消去されるまでに時間が掛かる場合があるため、Soliton Mark II Updater画面にて[更新する]を実施することでアンインストールを早めることが可能です。

(「Mark II Clientの状態を確認する」(P.17)を参照してください)

[更新する]を実施すると、下記画面が表示された後、Mark II Updaterの画面が消え、OSの再起動が要求されるため、再起動することによりアンインストールが完了します。

その後、クライアント管理画面からも消去されます。



付録: OSのイメージコピーによる展開をする場合

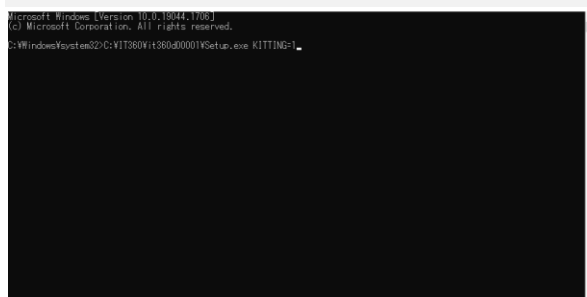
OSのイメージコピーによる展開をする場合

- Mark II Clientをインストールすると、端末を一意に識別する端末管理ID（以下TMID）が発行されます。インストール後OSのイメージコピーで展開した場合、TMIDが重複し以下のような問題が発生する可能性があります。
 - [コンピューター管理] にクローンイメージのマスタ分の台数の端末しか登録されない
 - [360ダッシュボード]でログが正常に解析できない
- イメージコピーでの展開をする場合は、必ずキッティングモードでインストールしてください。

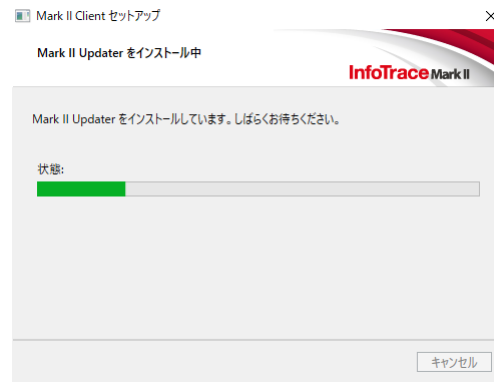
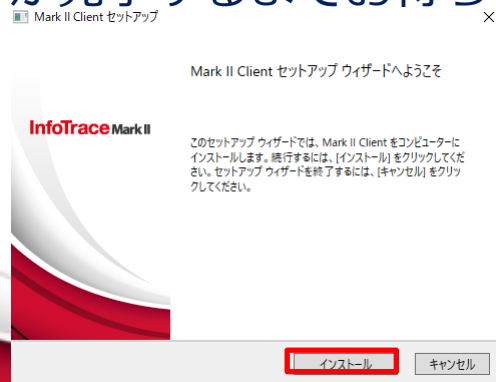
キittingモードでMark II Clientをインストールする

1. キittingモードでインストールをする場合は、インストーラーのフォルダ内にある[Setup.exe]を[KITTING=1] オプションを付与して実行します。

例) > C:¥IT360¥it360d00001¥Setup.exe KITTING=1



2. 通常のインストール同様、セットアップウィザードが起動します。
[インストール]をクリックするとMark II Updaterのインストールが開始されますので、インストールが完了するまでお待ちください。



キittingモードでMark II Clientをインストールする ～つづき～

3. キittingモードでインストールした端末は、インストール後にサービスの起動をせずに、OSの再起動後にサービスを起動します。
インストール完了後、OSのサービス管理画面を表示して、[Soliton ~] で始まる一連のサービスが自動起動で登録され、状態が「実行中」となっていないことを確認してください。



4. OS再起動前の状態で「sysprep」を実行してください。
その後、マスターとなるOSのディスクイメージを作成し、作成したディスクイメージを複製してクライアントコンピューターへ展開してください。

「見えるから分かる、分かるから変えられる」へ

InfoTrace 360

<https://www.soliton.co.jp/lp/it360/>

Soliton[®]

株式会社ソリトンシステムズ <https://www.soliton.co.jp/>

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-4-3 TEL 03-5360-3811 netsales@soliton.co.jp

大阪営業所06-7167-8880 福岡営業所092-263-0400 名古屋営業所052-217-9091

東北営業所022-716-0766 札幌営業所011-242-6111

※InfoTrace 360は、株式会社ソリトンシステムズの商標です。

※InfoTrace は、株式会社ソリトンシステムズの登録商標です。

※その他、本資料に記載の商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。